



15兆円

信越化学の 価値創造

信越化学グループは、産業や生活の基盤となる素材で高いシェアの製品を多く輩出し、安定成長を続けています。これは、将来を見据えた適時的確な設備投資を続けてきた歩みや、生産性向上に向けた技術革新に対する弛まぬ努力の成果と言っても過言ではありません。今後も成長が期待される市場環境の中で、お客さまの課題解決に資する製品を提供することで、さらなる成長を目指します。

10兆円

5兆円

時価総額

(2024年3月末現在)

13.2兆円



信越化学とは

産業や生活の基盤となる多くの素材で高いシェア

生活環境基盤材料事業

上下水道などのインフラ(社会基盤)から、住宅、農業、生活用品まで、私たちの生活に欠かせない塩化ビニル樹脂(塩ビ)。米国、欧州、日本の3拠点で合わせて年産444万トンの世界一の生産能力を有し、世界中に安定供給を行っています。そのほか、か性ソーダ、ポパールなども提供しています。

塩化ビニル樹脂
(塩ビ)



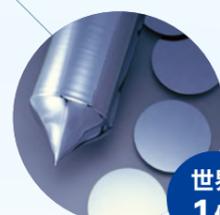
世界
1位



電子材料事業

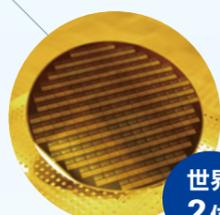
半導体の基幹材料であるシリコンウエハーを筆頭に、半導体製造工程に使用されるフォトレジスト、フォトマスクブランクス、封止材料などを生産しています。環境対応車や電化製品などに使われるモータの省電力化に不可欠なレア・アースマグネットや、光ファイバーの原料などに使用される高純度の合成石英等も供給しています。

半導体シリコン
(シリコンウエハー)



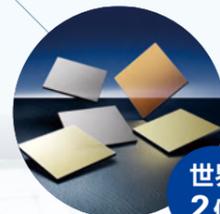
世界
1位

フォトレジスト



世界
2位

フォトマスク
ブランクス



世界
2位

合成石英
(液晶用フォトマスク基板)



世界
1位



機能材料事業

幅広い産業で使われるシリコーンは、1953年に日本で初めて事業化して以来開発を重ね、現在では5,000種を超える製品を取りそろえています。また、医薬、食品、工業用など用途が多岐にわたるセルローズ誘導体をはじめ、合成性フェロモン、金属ケイ素、液状フッ素エラストマー、ペリクル、負極材など、より良い機能を実現する多彩な製品を提供しています。

シリコーン



国内
1位

セルローズ誘導体
(メチルセルロー)



世界
2位

防虫用合成性フェロモン



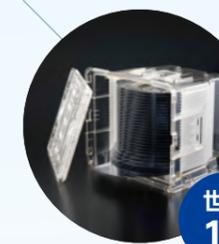
世界
1位



加工・商事・技術サービス事業

信越ポリマー(株)は、塩ビ、シリコーンなど各種樹脂の加工メーカーとして、自動車、情報機器、半導体、包装資材、建設資材などの幅広い分野で、お客さまの多様なニーズに応えています。信越エンジニアリング(株)は、主に当社グループの製造工場の設計、建設事業を手掛けるとともに、真空重ね合わせ装置、マイクロLEDチップ移送装置などを提供しています。

半導体
ウエハーケース



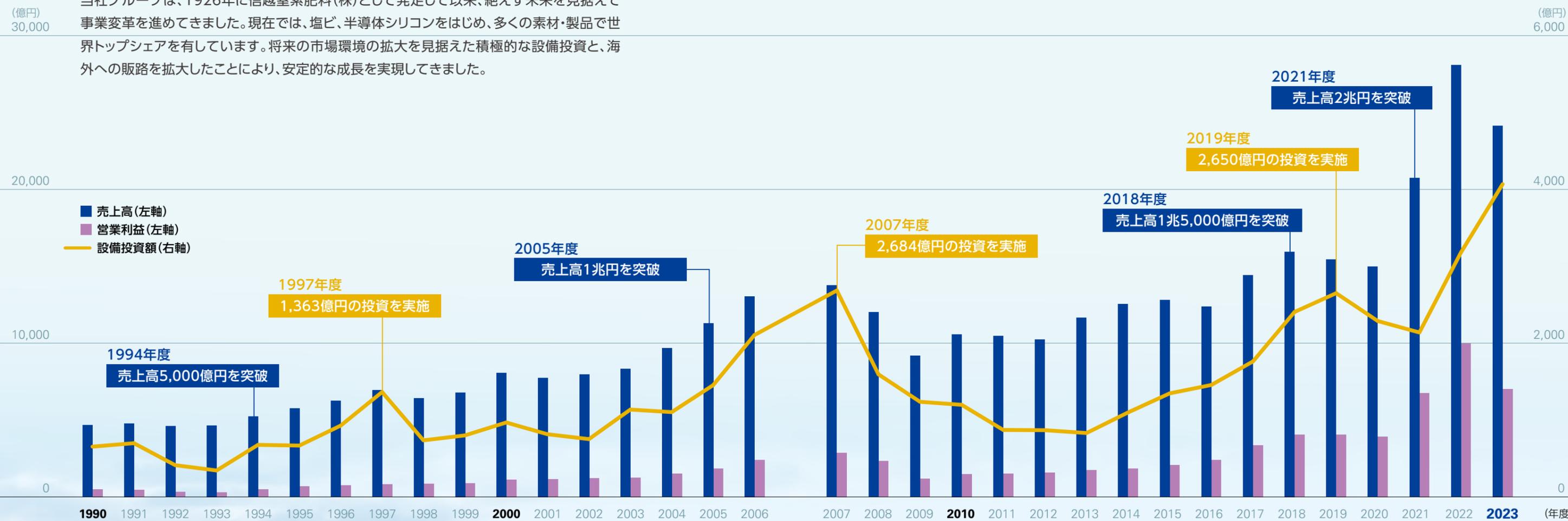
世界
1位



これまでの歩み

積極的な設備投資と海外への事業拡大で着実な成長を実現

当社グループは、1926年に信越窒素肥料(株)として発足して以来、絶えず未来を見据えて事業変革を進めてきました。現在では、塩ビ、半導体シリコンをはじめ、多くの素材・製品で世界トップシェアを有しています。将来の市場環境の拡大を見据えた積極的な設備投資と、海外への販路を拡大したことにより、安定的な成長を実現してきました。



高い業績の理由

人・組織・設備の生産性

当社は、T字型人材を中心とした最適な人材育成、お客さまニーズに迅速に対応する三位一体のモノづくり、そして、徹底した自動化と省人化の追求により、業界トップクラスの生産性を実現しています。

人の生産性

T字型人材を育成し 無駄のない働き方を追求

当社では画一的な人事異動を行わず、それぞれの分野で深い専門性を持ちながら、他の業務も幅広くこなせる「T字型人材」を育成しています。そして、こうした人材が、無駄のない働き方を追求し、最大限に力を発揮することで、1人当たりの生産性向上をもたらしています。

従業員1人当たりの営業利益 (直近3事業年度分の平均)

31百万円/人・年

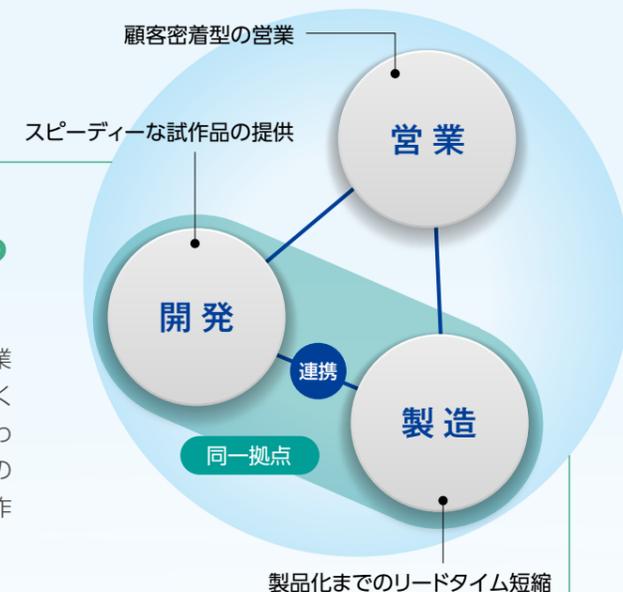


生産性の高い組織

時代のニーズを迅速に捉える 三位一体のモノづくり

当社の研究開発拠点は全て工場と同一敷地内にあり、営業から得たお客さまニーズに対し、開発と製造が常に素早く連携できる体制となっています。お客さまのニーズに合わせた製品を迅速に開発するとともに、製造部門との連携のもと、生産工場での品質の安定化と量産化へ向けての試作と実践的な開発を行っています。

▶詳細は、54ページの特集「三位一体のモノづくり」をご参照ください。



設備の生産性

自動化と省人化を徹底し 高い生産性を実現

生産現場では最小人数での安定操作を目指し、自動化と省人化を極限まで進め、既存設備の更新・改良や新増設の際には、より効率の良い方法を徹底追求しています。また、各プロセスで経験豊富なエンジニアがきめ細かくメンテナンスを行い、設備の停止やトラブルを最小限に抑えていることが、高い生産性を実現しています。



今後の成長に向け

- 塩ビ需要、半導体市場拡大を
着実に捉え、今後も安定的な
成長に注力します



(世界) 塩ビの需要推移

(信越化学調べ)

塩ビは耐久性、耐腐食性、加工性に加え、防災性、火災安全性にも優れた素材です。その需要はインフラや住宅投資等とのかかわりが強く、世界経済の成長率と一定の相関を有しています。今後も米国に加え、アジアやアフリカを中心に安定的に成長していくものと予想されます。

(世界) 半導体市場規模見通し

出典:第1回 半導体・デジタル産業戦略検討会議 開催資料5「世界の半導体市場と主要なプレイヤー」(経済産業省) (https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/joho/conference/semicon_digital/0001/05.pdf) をもとに信越化学作成。半導体市場規模は、本資料において適用された為替レート(1ドル=110円)で米国ドルに換算

世界の半導体市場は、生成AIが生産性向上の新たなツールとして注目を集め、自動車、スマートシティやスマートファクトリー向けにも需要が拡大し、2030年には約9,100億ドル規模に達すると予測されています。